

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第4週の発生動向

全数報告の感染症 (4週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30歳代	男	肺結核	画像所見あり
			40歳代	男	無症状病原体保有者	—
		都城	90歳代	男	肺結核	—
		延岡	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
		日向	60歳代	男	疑似症患者	咳
5類	破傷風	宮崎市	90歳代	男	—	開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣、呼吸困難(痙攣性)、反弓緊張

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は5,653人(定点あたり104.0)で、前週比89%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

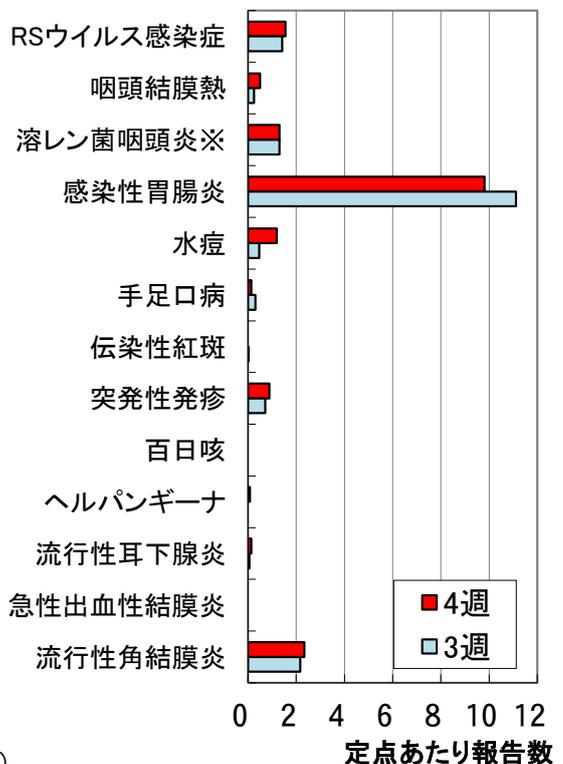
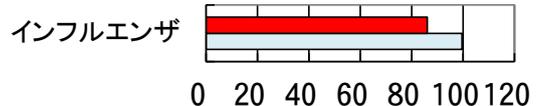
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

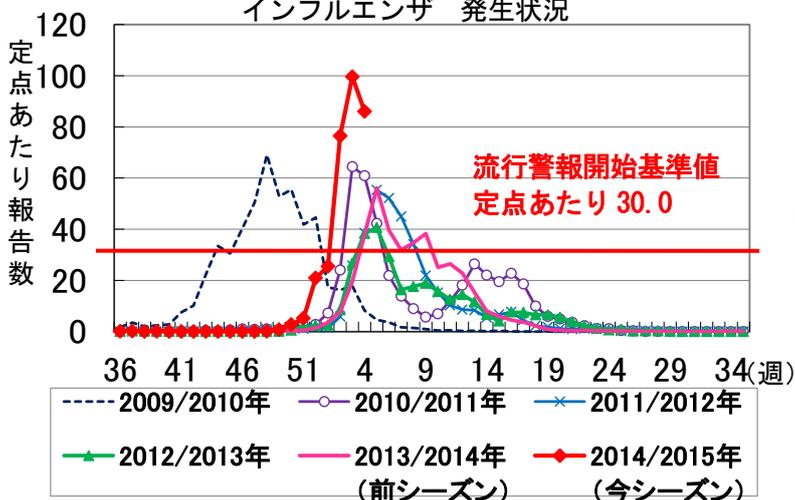
・報告数は5,077人(86.1)で、前週比86%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(42.2)の約2.0倍であった。延岡(126.7)、都城(113.2)、小林(93.4)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の23%、5-9歳が31%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が16%、60歳以上が7%を占めた。

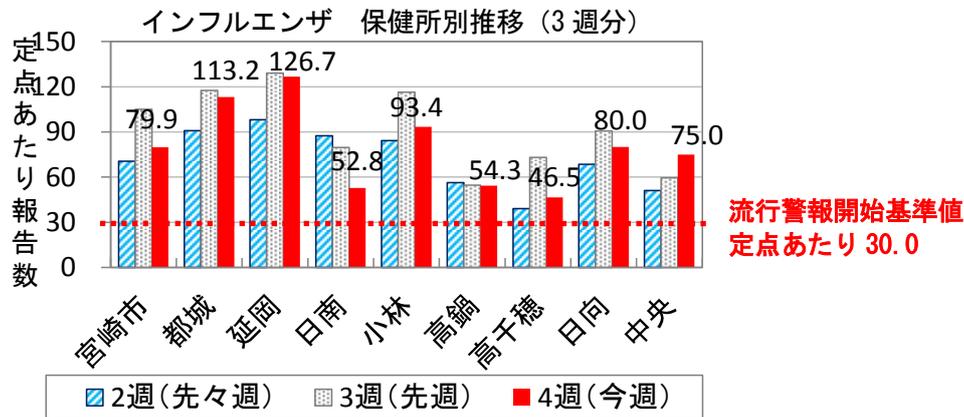
* 過去4年間の当該週、前週、後週(計12週)の平均値

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

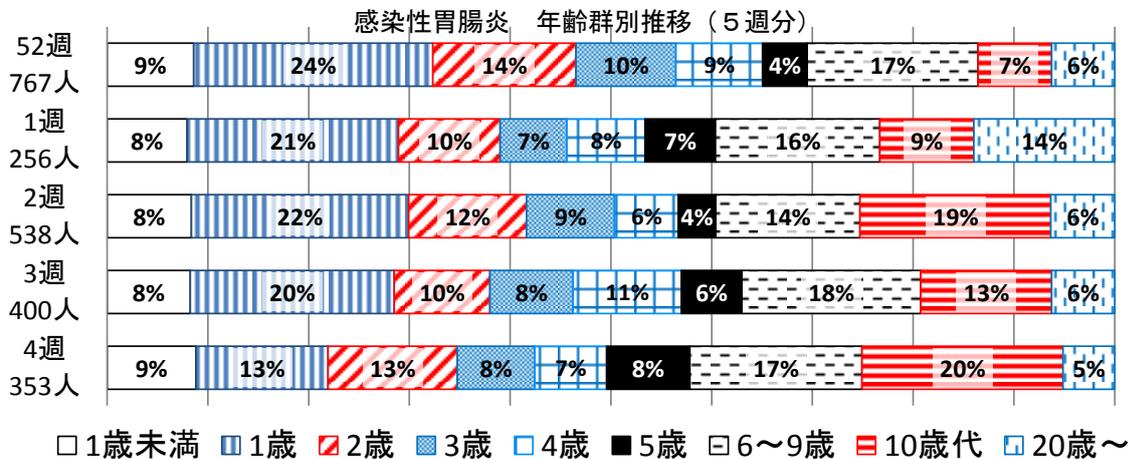
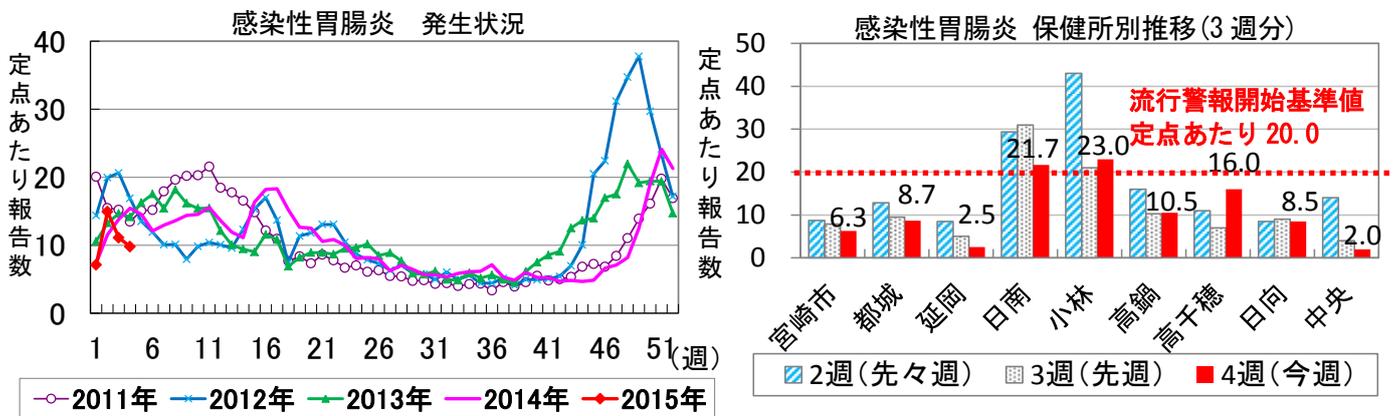




【感染性胃腸炎】

・報告数は353人(9.8)で前週比88%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(17.2)の約0.6倍であった。小林(23.0)、日南(21.7)保健所からの報告が多く、年齢別割合の推移をグラフに示す。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(79.9)
都城	インフルエンザ(113.2)
延岡	インフルエンザ(126.7)、水痘(4.5)
日南	インフルエンザ(52.8)、感染性胃腸炎(21.7)
小林	インフルエンザ(93.4)、感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	インフルエンザ(54.3)
高千穂	インフルエンザ(46.5)
日向	インフルエンザ(80.0)
中央	インフルエンザ(75.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・インフルエンザ(30.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

※流行注意報レベル基準値※

・水痘(4.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成27年1月26日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2014.12.25	喘息様気管支炎、急性細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、12/20~低酸素血症、咳	咽頭ぬぐい液、鼻汁	2015.1.6
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2014.12.25	RSV細気管支炎、気管支炎、12/22~低酸素血症、咳	咽頭ぬぐい液、鼻汁	2015.1.6
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2014.12.28	RSV細気管支炎、発熱(38.5℃)、下気道炎(気管支炎)、低酸素血症、喘鳴	咽頭ぬぐい液、鼻汁	2015.1.6
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2015.1.2	無呼吸、RSV感染症、急性呼吸不全、発熱(39.7℃)、上気道炎、下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液、鼻汁	2015.1.6
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	女	2015.1.3	無呼吸、急性肺炎、下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液、鼻汁	2015.1.6
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	30歳代	女	2015.1.9	上気道炎(咽頭痛12/25~)、(嗄声12/25~)	鼻汁	2015.1.14
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5~9	男	2015.1.9	上気道炎、咳(12月中旬~)、1/4発熱(39.0℃)、1/6解熱、咳嗽持続	鼻汁	2015.1.14
<i>Bordetella parapertussis</i> (パラ百日咳菌)	5~9	女	2015.1.13	急性気管支炎、発熱(37.1℃)、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.1.14

○咳嗽、気管支炎等を発症した8名の患者のうち7名から *Bordetella pertussis* (百日咳菌) が、1名から *B. parapertussis* (パラ百日咳菌) が分離、検出された。パラ百日咳菌は百日咳菌と同じ *Bordetella* 属菌で、呼吸器症状を引き起こす。百日咳毒素を産生しないため、百日咳菌に比較してその症状は軽いとされるが、百日咳菌以外の *Bordetella* 属菌は、百日咳ワクチンによる免疫では予防できない。また、臨床症状のみから両者を鑑別することは困難である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザウイルス AH3型	5~9	男	2015.01.05	インフルエンザA、38.3℃、上気道炎	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	10歳代	女	2015.01.07	インフルエンザA、39.2℃	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	5~9	女	2015.01.08	インフルエンザA、38.2℃、上気道炎	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	1~4	男	2015.01.09	インフルエンザA、上気道炎、頭痛	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	10歳代	女	2015.01.09	インフルエンザA、39℃	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	10歳代	女	2015.01.09	インフルエンザA、38.4℃	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	5~9	女	2015.01.10	インフルエンザA、38.8℃	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	5~9	男	2015.01.10	インフルエンザA、38.4℃、胃腸炎(嘔気、嘔吐)	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	10歳代	男	2015.01.14	インフルエンザA、38.8℃、上気道炎	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	1~4	男	2015.01.14	インフルエンザA、39.1℃	鼻汁	2015.01.15
インフルエンザウイルス AH3型	5~9	女	2015.01.14	インフルエンザA、38.0℃、上気道炎	鼻汁	2015.01.21
インフルエンザウイルス B型(山形系統)	5~9	男	2015.01.10	インフルエンザB、39.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.01.15
RSウイルス	1歳未満	男	2015.01.05	喘息様気管支炎、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.01.22
RSウイルス	1歳未満	女	2015.01.06	RSV細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、陥没呼吸、顔色不良	咽頭ぬぐい液	2015.01.22
RSウイルス	1歳未満	女	2015.01.07	細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、無呼吸発作	咽頭ぬぐい液	2015.01.22
RSウイルス	1歳未満	男	2015.01.07	RSV細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、鼻汁、咳	咽頭ぬぐい液	2015.01.22

○インフルエンザ A と診断された小児 11 名からインフルエンザ AH3 型が、またインフルエンザ B と診断された小児からインフルエンザ B 型（山形系統）が検出された。当所でのインフルエンザ B 型の検出は今シーズン初めてである。全国のインフルエンザウイルス分離、検出状況を見ると、2015 年 1 月 26 日時点では、AH3 型の検出の割合が最も多く（1692 例）、次いで B 型（43 例）、AH1pdm09（14 例）の順となっており、B 型の中では山形系統の割合が多い。

○細気管支炎等の乳児 4 名から RS ウイルスが検出された。RS ウイルス感染症は乳幼児に多い急性呼吸器感染症であり、乳幼児における肺炎の約 50%、細気管支炎の 50～90%を占めるといわれている。

📊 全国第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 3 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	256 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21 例				
4類感染症	E 型肝炎	1 例	A 型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	7 例	レジオネラ症	16 例
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性脳炎	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	18 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘（入院例）	2 例	梅毒	21 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	2 例	麻しん	3 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

インフルエンザの報告数は 183,087 人(37.0)で、前週比 111%と増加した。宮崎県(99.6)、沖縄県(84.8)、熊本県(73.6)からの報告が多く、年齢別では 5 歳未満が全体の約 20%、5～9 歳が 27%、10～14 歳が 16%、15～19 歳が 5%、20～59 歳が 24%、60 歳以上が 8%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 23,339 人(7.4)で、前週比 90%と減少した。福井県(12.0)、宮崎県(11.1)、熊本県(10.6)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 3 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第4週(1月19日～1月25日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5875	5077	1278	1132	887	264	467	326	93	480	150
	定点あたり	99.58	86.05	79.88	113.20	126.71	52.80	93.40	54.33	46.50	80.00	75.00
RSウイルス 感染症	報告数	51	56	17	3	25			5		6	
	定点あたり	1.42	1.56	1.70	0.50	6.25	0.00	0.00	1.25	0.00	1.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	18	3	4	2	6				3	
	定点あたり	0.25	0.50	0.30	0.67	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	47	21	5	6	6		3	1	4	1
	定点あたり	1.31	1.31	2.10	0.83	1.50	2.00	0.00	0.75	1.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	400	353	63	52	10	65	69	42	16	34	2
	定点あたり	11.11	9.81	6.30	8.67	2.50	21.67	23.00	10.50	16.00	8.50	2.00
水痘	報告数	17	43	10	4	18	1		8		1	1
	定点あたり	0.47	1.19	1.00	0.67	4.50	0.33	0.00	2.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	11	5	1	2						2	
	定点あたり	0.31	0.14	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	32	9	4	3	3	3	2		5	3
	定点あたり	0.72	0.89	0.90	0.67	0.75	1.00	1.00	0.50	0.00	1.25	3.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		3		1	1			1			
	定点あたり	0.00	0.08	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	5	1	2	2						
	定点あたり	0.06	0.14	0.10	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	14	14								
	定点あたり	2.17	2.33	4.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～4週)

2類感染症	結核	16例(6)			
4類感染症	つつが虫病	3例			
5類感染症	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	破傷風	1例(1)	1例

()内は今週届出分、再掲

